



ALPS処理水の海洋放出に伴う風評・風化対策の全体像

- 震災以降、根強く残る風評を払拭するため、風評・風化対策強化戦略に基づき、安全・安心の取組はもとより福島の良い姿や復興の現状、県産品や地域の魅力の発信等に取り組んできた。
- 今般のALPS処理水の海洋放出について、処理水のトリチウム濃度の確認や海域モニタリングの強化などの安全確保の取組を前提として、**新たな風評への懸念に対応するため、情報発信や魅力の発信に更に力を入れていく必要がある**ことから、喫緊の対応策として、9月補正に6事業を計上するもの。
- 今後も、処理水放出による影響を注視しつつ、事業者の声を丁寧に聞き取るなど、必要に応じて対策を検討していく。

9月補正予算の概要：ALPS処理水放出による新たな風評への懸念への対応

470,241千円

< 情報発信 >

- **チャレンジふくしま戦略的情報発信事業**（広報課） **139,997千円**
ふくしまの今と魅力を正確に伝えるため、関東地方に向けた情報発信を更に強化する。
- **ふくしまの魅力・情報発信連携事業**（風評・風化戦略室） **44,436千円**
県産品の消費地である都市部で開催されるイベントなどを活用した情報発信を更に強化する。

< 観光 >

- **モニターツアーを通じたホープツーリズムの推進**（観光交流課） **20,000千円**
ホープツーリズムへの更なる誘客を促進するためのモニターツアーを実施し、参加者による現地体験を通じた情報発信を強化する。

< 農林水産物・県産品 >

- **ふくしまプライド農林水産物販売力強化事業**（農産物流通課） **23,417千円**
県産農林水産物の安全性に関する取組や福島ならではの魅力など、県内外の流通事業者に対する情報発信を強化する。
- **福島県産水産物競争力強化支援事業**（水産課） **74,915千円**
首都圏等の大手量販店における販売強化や県内イベントの開催などにより、県内外に向けた情報発信を強化する。
- **ふくしまの漁業の魅力体感・発信事業**（水産課） **167,476千円**
オールメディアによる県内に向けた漁業の魅力発信や、「常盤もの」を紹介するナビゲーションサイトによる情報発信を更に強化する。

（参考）当初予算の主な事業：根強い風評への対応

< 正確な情報発信 >

- **戦略的復興関連情報発信事業**：復興ポータルサイトのリニューアルにより、国内外へ正確で分かりやすい本県の情報発信する。

< 絆を活かした発信 >

- **チャレンジふくしま世界への情報発信事業**：海外における風評払拭・風化防止を図るため、国際会議や駐日外交団の県内視察等を通じて、本県の復興状況や魅力を発信する。

< 地産地消の推進 >

- **ふくしまプライド農林水産物販売力強化事業**：
（おいしいふくしまいただきます！キャンペーン事業）
県内での消費拡大キャンペーンを実施し、県産農林水産物の魅力を発信する。

< 地域の魅力・ブランド力向上及び輸出拡大 >

- **県産品風評対策事業**：海外におけるイベントやプロモーションにより県産品を広くPRする。

※ 処理水放出による新たな風評への懸念に対応する9月補正については、根強い風評に対応する当初予算の既存事業とも連携し、更なる効果をあげられるよう事業を構築する。